

福岡市インディアカ協会

【設立年月日】

1989（平元）年5月17日

【加盟年月日】

2001（平13）年4月1日

【歴代会長】

1989（平元）年5月～ 井 浦 巖

1996（平8）年6月～ 柳 武 繁 行

2000（平12）年12月～原 田 清 子

【歴代理事長】

1989（平元）年5月～ 柳 武 繁 行

1996（平8）年6月～ 成 吉 静 穂

【沿革】

福岡市インディアカ協会の歩はすでに競技スポーツとしての枠を確保して、チャンピオンを目指してのクラブ組織づくりが多数となっている。

設立当初はただ、レクリエーションの仲間づくりとインディアカ競技の普及を目指すことを目的とし、やさしく、楽しくがモットーであった。

そのため、現在よりも高齢者が多かったのだが、競技力の向上・強化に走るクラブチームの増加に伴い徐々に反比例を招いている傾向にある。

45歳以上のシニア部門を設けて高齢者の参加を図りながら、ルールの適用も市独自の特別ルールを取り入れたり、参加者の意見を基に楽しさを感じる企画を案じたりしている。

インディアカの資材に関しては羽根の値段が高額で、スポーツ店ではなかなか手に入らず、人目に触れることが少ないことが興味を持つ以前の問題であり、普及の妨げになっている。

羽根は大変折れやすく、ドイツ製で水鳥の羽を使用されているのだが、アタックで強く叩いて地面に落ちた瞬間に折れてしまうことがよくあり、1大会で多いときは10本程度を交換しなければならず、本体も傷みやすく革にひびが入ったりすると使い物

にならなくなる。

競技力が上がるということは、それだけ資材が必要になり、クラブチームの運営にも経済的に大きな負担となっている。

しばらくの間、年齢層と参加者が一定化して普及の目途が進まない時期もあったが、世代交代の時期でもあり、今や若い男女の参加者が増加し、徐々に登録チームの更新が伸びている。

福岡市インディアカ協会では今後の目標として、福岡市を中心とした大規模大会を年間に1～2回計画して幅広く発展普及を目的に、実施する予定である。体育館の確保が難しいこともあり、緻密な計画と企画を練りながら、九州管内のチームを呼び込むなどもっと生涯スポーツとしての力を発揮しながらも、一方では勝負にこだわる競技スポーツとしての実力主義を取り込んだインディアカの組織拡大を目指したいと考えている。

日本インディアカ協会のルールが毎年変更されている中、参加者からの多くの意見で福岡市のルールを考案して取り入れてやっているが、今はそのほうが好評であり、参加者拡大の狙いは的を得ているようである。

高齢者が楽しめるスポーツとして活発に取り組んでいた頃は勝つことが目的ではなく、健康と仲間づくりを優先したため、ラリーも緩やかでパスだけでやってみたり、アタックラインを設けたり、都度都度ルールを変更したりと試行錯誤しながら生涯スポーツとしてその言葉どおりに幅広く誰でも何処でもと続けてきたが、時代は変化するのだ。



結局現在のようにチャンピオンスポーツの形式となり、若年層を取り込まなければインディアカの普及は途絶えると考えられ、徐々に世代交代をしつつある。

福岡市内でも区によって区大会等を行ったりしているところもあるが特に南区は、南区スポーツ協会が組織にあり、そこに南区インディアカ協会が加盟している。

この協会は市に繋がる役員と校区から選出された代表が理事となり、一丸となり活動は大変盛んに行われており、近隣校区との情報も密になされ、会議等でも活発な意見交換が交わされている。

また、大会等での運営に関する相違や工夫などでも、福岡市インディアカ協会に相談しながら、普及、発展を目的として協力を要請しあう。

マイナー的な分野でのスポーツであるが、やっている個人や、団体は夢中で頑張っている。

そのため時折意見の衝突や、考え方の違いから分裂したり、脱退したりも見受けられるがどのスポーツにも有りえる問題であり、その中でも少数の4人だけがコートに入って実力を発揮できるのに、チームワークの良し悪しで個人の力が半分も出せなかったり、反対に個人の力不足は否めないのに勝ち上がったたりする。想像とは違い結果が思いがけない方向に走るとムードは最悪になったりする場合もあるが、切り替えも早い。気を許しあう家族のようなチームほど、狭いコートの中で怒ったり、笑ったりの場面が激しい。

それもこのインディアカの魅力のひとつでもあるだろう。

大会の進行に関連して、参加者の意見で受付時に組み合わせの抽選を行い、当日抽選で不平不満を解消していることがチームには好評である。

男女混合で年齢に関係なく誰でもが来て楽しめるスポーツを原点に裾野を広げて行きたいものである。部門を分けた意味が必然だったとみんなが納得してこそ、年代別の意味もある。

笑い声が館内に響くスポーツであるように願い、自由な空間、自由な発想でチームを作り、育ててい

くクラブづくりを手助けできるよう、福岡市インディアカ協会が出来る限りのサポート役として、また指導者としての両面から取り組み、今後の発展に結びつくよう組織力の向上を目指したい。

【現在の活動】

- ※ 福岡市年間事業計画の大会運営
- ※ 南区インディアカ大会運営協力
- ※ 研修会等の開催・協力

